

第1回 神奈川区制 100 周年記念事業実行委員会

日時：令和7年11月18日（火）午後4時

場所：神奈川区役所 本館5階大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 区長あいさつ
- 3 議 事
 - （1）実行委員会規約の制定
 - （2）実行委員会委員の構成
 - （3）委員長の選出
 - （4）副委員長及び監事の選出
 - （5）顧問及び参与の選出
 - （6）部会の構成
 - （7）100周年記念事業テーマ案
 - （8）100周年記念ロゴ候補作品の選出
- 4 その他
- 5 閉 会

【 第2回 神奈川区制 100 周年記念事業実行委員会 開催予定日 】

令和7年3月18日（水）午後4時頃から

神奈川県 神奈川区制 100 周年記念事業実行委員会規約（案）

（名称）

第 1 条 本会は、神奈川県 神奈川区制 100 周年記念事業実行委員会（以下「委員会とする。」）と称する。

（目的）

第 2 条 神奈川県 神奈川区制 100 周年を 2027 年 10 月に迎えるにあたって、様々な記念事業を円滑に実施することを目的とする。

（事業）

第 3 条 委員会は、前条の目的を達成するため、以下の項目を実施する。

- （1）記念式典の企画・実施
- （2）記念事業の企画・実施
- （3）記念事業の広報・PR
- （4）その他、前条に定めた目的を達成するために必要なこと

（組織）

第 4 条 実行委員会の委員は、第 2 条の趣旨に賛同する区内の団体及び関係企業とし、別表に掲げる者とする。

2 委員長は、必要がある時は新たに委員を追加することができる。

3 委員がその属する団体等の役職を離れたときは、その後任者が委員を務めるものとする。

（役員）

第 5 条 委員会には、次の役員を置く。

- （1）委員長 1 名
- （2）副委員長 若干名
- （3）監事 2 名

2 委員長は、委員の互選により決定する。

3 副委員長は、委員の互選により決定する。

4 監事は、委員の互選により決定する。

（任務）

第 6 条 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故等があるときは、その職務を代行する。

3 委員は、会務を審議し運営する。

4 監事は委員会の会計を監査する。

（任期）

第 7 条 委員会は第 3 条に定める事業の終了をもって解散とする。

（顧問及び参与）

第 8 条 実行委員会に、顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は委員長が指名する。

3 顧問は、実行委員会の運営について意見を述べることができる。

4 参与は、委員長の諮問に応じ意見を述べることができる。

(委員会及び会議内容)

第9条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

2 委員会では、委員及び役員により構成し、以下の事項について会議し、議決をする。

- (1) 委員会の基本方針に関わること
- (2) 事業計画・予算に関わること
- (3) 事業報告・決算に関わること
- (4) 規約の制定・改定・廃止に関わること
- (5) その他委員会運営に関わること

3 委員会は、委員及び役員の過半数の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数をもって決する。
ただし、可否同数の場合は委員長が決定する。

4 委員及び役員が委員会に出席できない場合は、以下の事項について実施することができる。この場合、委員会に出席したものとしてみなす。

- (1) 委員会に対し、あらかじめ通知された事項について、自らの意見を書面により表明する。
- (2) 委員会に対し、あらかじめ届け出をすることで、権限を委員長及び他の委員に委任する。
- (3) 委員会に対し、あらかじめ届け出をすることで、代理人を置くことができる。

(会計年度)

第10条 委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日を終わりとする。

ただし、委員会の設立年度については、委員会設立日に始まり、翌年3月31日までとする。

2 解散の日の属する会計年度は、委員会解散日をもって終わる。

(予算)

第11条 委員長は、毎会計年度、事業計画及び収支予算書を作成し、委員会に提出し、承認を受けることとする。

(決算)

第12条 委員長は、毎会計年度、事業報告及び収支決算書を作成し、監事による監査を受けた上で、委員会に提出し、承認を受けることとする。

(委任)

第13条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関する必要な事項は委員長が定める。

(部会)

第14条 委員会は、第2条に掲げる目的を達成するため、委員会に部会を置くことができる。

2 部会の委員及び部会長は、委員長が委員の中から選任した者とする。

(事務局)

第15条 委員会の事務局は、神奈川区役所地域振興課に置く。

附 則

この規約は、2025年〇月〇日から施行する。

神奈川区制100周年記念事業実行委員会 名簿（案）

	委員	
1	新子安地区連合自治会	会長 森田 岩男
2	子安通1丁目連合町内会	会長 鈴木 弘志
3	入江地区連合町内会	会長 林元 のり子
4	神之木西寺尾連合自治会	会長 平田 吉治
5	松見連合町内会	会長 堀江 孝夫
6	大口七島地区連合町内会	会長 石渡 祥男
7	白幡地区自治連合会	会長 中込 弘
8	神奈川自治連合会	会長 八木下 明
9	幸ヶ谷地区連合町内会	会長 齋藤 興輔
10	神西地区連合会	会長 柳澤 直人
11	浦島丘連合自治会	会長 加藤 雅弘
12	青木第一自治連絡協議会	会長 澤野 英忠
13	青木中央自治会町内会連合会	会長 戸張 治行
14	三ツ沢連合自治町内会連絡協議会	会長 中山 安司
15	神北地区連合町内会	会長 島田 恵
16	六角橋自治連合会	会長 黒澤 五夫
17	神大寺地区自治連合会	会長 小林 譲治
18	片倉地区連合自治会	会長 下地 慧子
19	菅田地区自治連合会	会長 小池 良幸
20	羽沢地区自治連合会	会長 岐部 文明
21	三枚地区連合自治会	会長 小川 裕司
22	神奈川区明るい選挙推進協議会	会長 岐部 文明
23	神奈川区環境事業推進委員連絡協議会	会長 望月 清
24	神奈川区子ども会育成連絡協議会	会長 島田 恵
25	神奈川区シニアクラブ連合会	会長 奥田 能史
26	神奈川区スポーツ推進委員連絡協議会	会長 塚原 仁
27	神奈川区スポーツ協会	会長 森山 明
28	神奈川区青少年指導員協議会	会長 荻原 彦二郎
29	神奈川区民生委員児童委員協議会	会長 今井 典代
30	神奈川区文化協会	会長 岩崎 美代子
31	神奈川区保健活動推進委員会	会長 田鎖 晴美
32	神奈川交通安全協会	会長 小松 範昭
33	神奈川区防犯協会	会長 石渡 祥男
34	神奈川区医師会	会長 岩田 篤人
35	神奈川区歯科医師会	会長 伊東 昌俊
36	神奈川区獣医師会	会長 吉池 正喜
37	神奈川区薬剤師会	会長 石原 孝一
38	神奈川区食生活等改善推進委員会	会長 小山 由季
39	神奈川区食品衛生協会	会長 星野 光治
40	神奈川区生活衛生協議会	会長 佐藤 和廣
41	神奈川区社会福祉協議会	会長 河原 史郎
42	神奈川保護司会	会長 中野 重哉
43	神奈川区商店街連合会	会長 石川 清貴
44	神奈川工業会	会長 桐ヶ谷 修幸
45	公益社団法人 神奈川台場地域活性化推進協会	代表理事 山本 博士
46	横浜建設業協会神奈川区会	会長 渡辺 裕之
47	横浜商工会議所北部支部	支部長 原田 篤
48	横浜中央卸売市場本場	本場長 日比野 政芳
49	横浜農業協同組合	メルカートかながわ店 店長 齋田 博樹
50	岩崎学園 情報科学専門学校	担当グループ長 那須 宗夫

51	神奈川大学	学長 戸田 龍介
52	横浜国立大学	副学長(地域担当) 田中 稲子
53	横浜市私立保育園こども園園長会	理事 菱川 由美
54	横浜市幼稚園協会神奈川支部	支部長 永井 洋一
55	神奈川区小学校校長会	会長 谷石 宏之(幸ヶ谷小学校校長)
56	神奈川区中学校校長会	米盛 司(栗田谷中学校校長)
57	神奈川区地域子育て支援拠点「かなーちえ」(NPO法人親がめ)	施設長 東田 信子
58	横浜エクセレンス(株式会社横浜エクセレンス)	代表取締役社長 桜井 直哉
59	横浜FC(株式会社横浜フリエスポーツクラブ)	地域コミュニティ事業本部長/C.R.O 内田 智也
60	横浜キヤノンイーグルス(キヤノン株式会社)	プレジデント 岡本 芳弘
61	横浜グリッツ(GRITSスポーツイノベーターズ株式会社)	代表取締役 臼井亮人
62	横浜ビー・コルセアーズ(株式会社横浜ビー・コルセアーズ)	代表取締役 白井 英介
63	横浜銀行 アイスアリーナ(公益財団法人横浜市スポーツ協会)	代表理事 会長 山口 宏
64	Youテレビ株式会社	代表取締役社長 石田 修一
65	株式会社タウンニュース社	神奈川区編集室編集長 小宮 浩義
1	横浜市議員	藤代 哲夫
2	横浜市議員	中山 大輔
3	横浜市議員	田中 紳一
4	横浜市議員	小松 範昭
5	横浜市議員	宇佐美 さやか
6	横浜市議員	竹内 康洋
7	神奈川県議会議員	梅沢 裕之
8	神奈川県議会議員	片桐 紀子
9	神奈川区長	鈴木 茂久

実施体制(案)

実行委員会

委員会会議の開催、部会案・事務局案の審議・議決
(担当:地域振興課)

式典部会

記念式典に関連した企画や運営に関すること
(担当:総務課)

事業部会

周年記念事業の企画・実施に関すること
(担当:地域振興課、福祉保健課)

広報・PR部会

周年記念事業の広報やプロモーションに関すること
(担当:区政推進課)

神奈川区制 100 周年記念事業実行委員会 部会別名簿案

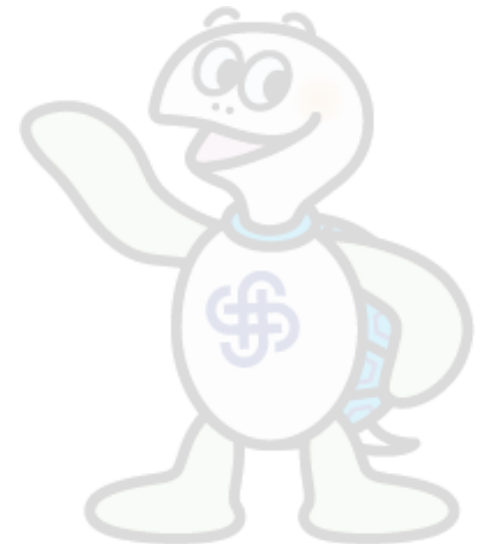
式典部会 部会員名簿		
NO.	所属	名前
1	新子安地区連合自治会	会長 森田 岩男
2	神之木西寺尾連合自治会	会長 平田 吉治
3	松見連合町内会	会長 堀江 孝夫
4	白幡地区自治連合会	会長 中込 弘
5	神奈川自治連合会	会長 八木下 明
6	浦島丘連合自治会	会長 加藤 雅弘
7	青木中央自治会町内会連合会	会長 戸張 治行
8	六角橋自治連合会	会長 黒澤 五夫
9	神奈川区シニアクラブ連合会	会長 奥田 能史
10	神奈川区スポーツ推進委員連絡協議会	会長 塚原 仁
11	神奈川区青少年指導員協議会	会長 荻原 彦二郎
12	神奈川区交通安全協会	会長 小松 範昭
13	横浜建設業協会神奈川区会	会長 渡辺 裕之
14	神奈川大学	学長 戸田 龍介
15	横浜市私立保育園こども園園長会	理事 菱川 由美
16	横浜市幼稚園協会神奈川支部	支部長 永井 洋一
17	神奈川区小学校校長会	会長 谷石 宏之（幸ヶ谷小学校校長）
18	神奈川区中学校校長会	米盛 司（栗田谷中学校校長）

広報・PR部会 部会員名簿

NO.	所属	名前
1	子安通1丁目連合町内会	会長 鈴木 弘志
2	入江地区連合町内会	会長 林元 のり子
3	大口七島地区連合町内会	会長 石渡 祥男
4	幸ヶ谷地区連合町内会	会長 齋藤 興輔
5	青木第一自治連絡協議会	会長 澤野 英忠
6	神北地区連合町内会	会長 島田 恵
7	神奈川区子ども会育成連絡協議会	会長 島田 恵
8	神奈川区防犯協会	会長 石渡 祥男
9	神奈川区社会福祉協議会	会長 河原 史郎
10	岩崎学園 情報科学専門学校	担当グループ長 那須 宗夫
11	横浜エクセレンス (株式会社横浜エクセレンス)	代表取締役社長 桜井 直哉
12	横浜 FC (株式会社横浜フリエスポーツクラブ)	地域コミュニティ事業本部長/C.R.O 内田 智也
13	横浜キャノンイーグルス (キャノン株式会社)	プレジデント 岡本 芳弘
14	横浜グリッツ (GRITS スポーツイノベーターズ株式会社)	代表 臼井 亮人
15	横浜ビー・コルセアーズ (株式会社横浜ビー・コルセアーズ)	代表取締役 白井 英介
16	Y o u テレビ株式会社	代表取締役社長 石田 修一
17	株式会社タウンニュース社	神奈川区編集室編集長 小宮 浩義

事業部会 部会員名簿		
NO.	所属	名前
1	神西地区連合会	会長 柳澤 直人
2	三ツ沢連合自治町内会連絡協議会	会長 中山 安司
3	神大寺地区自治連合会	会長 小林 譲治
4	片倉地区連合自治会	会長 下地 慧子
5	菅田地区自治連合会	会長 小池 良幸
6	三枚地区連合自治会	会長 小川 裕司
7	神奈川区明るい選挙推進協議会	会長 岐部 文明
8	神奈川区環境事業推進委員連絡協議会	会長 望月 清
9	神奈川区スポーツ協会	会長 森山 明
10	神奈川区民生委員児童委員協議会	会長 今井 典代
11	神奈川区文化協会	会長 岩崎 美代子
12	神奈川区保健活動推進員会	会長 田鎖 晴美
13	神奈川区医師会	会長 岩田 篤人
14	神奈川区歯科医師会	会長 伊東 昌俊
15	神奈川区獣医師会	会長 吉池 正喜
16	神奈川区薬剤師会	会長 石原 孝一
17	神奈川区食生活等改善推進員会	会長 小山 由季
18	神奈川区食品生活衛生協会	会長 星野 光治
19	神奈川区生活衛生協議会	会長 佐藤 和廣
20	神奈川保護司会	会長 中野 重哉
21	神奈川区商店街連合会	会長 石川 清貴
22	神奈川工業会	会長 桐ヶ谷 修幸
23	神奈川台場地域活性化推進協会	理事長 山本 博士
24	横浜商工会議所北部支部	支部長 原田 篤
25	横浜中央卸売市場本場	本場長 日比野 正芳
26	メルカートかながわ（横浜農業協同組合）	店長 齋田 博樹
27	神奈川区地域子育て支援拠点「かなーちえ」 （NPO 法人親がめ）	施設長 東田 信子
28	横浜国立大学	副学長（地域担当） 田中 稲子
29	横浜銀行 アイスアリーナ （公益財団法人横浜市スポーツ協会）	会長 山口 宏

神奈川区制100周年記念事業 テーマ(案)について



テーマ設定にあたって

100周年という節目を区民の皆様と共に祝い、区への愛着と地域のつながりをさらに深める取組を推進するため、これまでの歩みとこれからの神奈川区への想いをお伺いしました。

この結果と、区の課題認識を整理し、テーマ(案)を作成しました。



区民アンケート

回答 467件



団体ヒアリング

回答 39団体



神奈川区の課題

100周年を契機に考える

神奈川区制100周年記念事業のテーマ(案)

- **地域の魅力と誇りを再確認する**
- **人と人とのつながりを育む**
- **次の100年に向けて未来への希望を紡ぐ**



□ 地域の魅力と誇りを再確認する

100周年を迎えることに「感謝」し、歴史ある神奈川宿や浦島伝説、緑豊かな自然、交通の利便性など、区民が誇りに思う神奈川区の魅力や良さを再確認し、愛着を深める。

☞ 皆様からのご意見

- ▶ 過去の歩みを振り返り、地域の価値を再確認したいという意識がある傾向

神奈川区の好きなところ


- 利便性
- 自然
- 歴史

100周年に大切なキーワード

- 歴史
- 感謝

100周年を契機に考える区の課題

他区と比べて10年以上定住している方の割合が低い

 神奈川区に愛着を持ってもらうことを大切に。

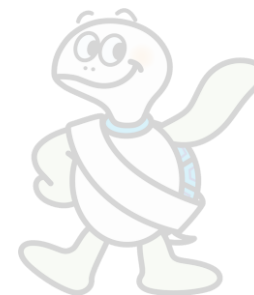


□ 人と人とのつながりを育む

「つながり」「絆」など、区民の声に多く登場したキーワードを軸に、世代や地域、文化を超えた交流を促進

💬 皆さんからのご意見

- ▶ 地域の絆や共助の価値を再認識する意識＝つながりが必要



👂 100年後は
どのような区に？

- 老若男女があいさつし合い、助け合う街
- 顔の見える関係が続いてほしい

📝 100周年に
大切なキーワード

- つながり
- 絆

🏠 100周年を契機に考える
区の課題

地域活動に参加する人が減少傾向


💡 背景・属性にとらわれず、
『つながり』が大切

□ 次の100年に向けて未来への希望を紡ぐ


区民ひとりひとりが神奈川区の「未来」を描き、バトンを次の世代のこどもたちへつなぐ。

💬 皆さんからのご意見

▶ 今の区の良さを維持する、継承する。＝バトンを次の100年へ

 どのようなまちに
なって欲しいか

- 安心して暮らせる
- 交通の利便性
- 環境

 次の100年を
迎えるにあたり
必要なこと

- こどもたちが住みたいまち
- 若者の地域参加
- 多文化共生
- 高齢者支援

 100周年を契機に考える
区の課題

外国人、学生等の若者、高齢者など
多様な属性の方々が居住

💡 区の良さを継承し、
みなさまがいきいきと自分らしく
生きられる区に

神奈川区制100周年記念事業のテーマ

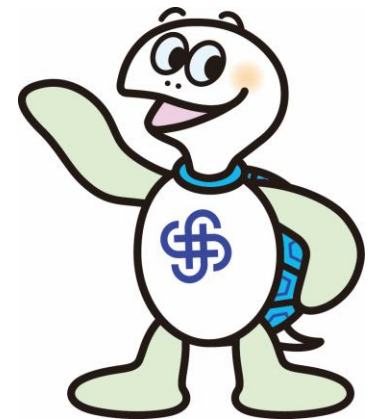
地域の魅力と誇り
を再確認する

人と人とのつながり
を育む

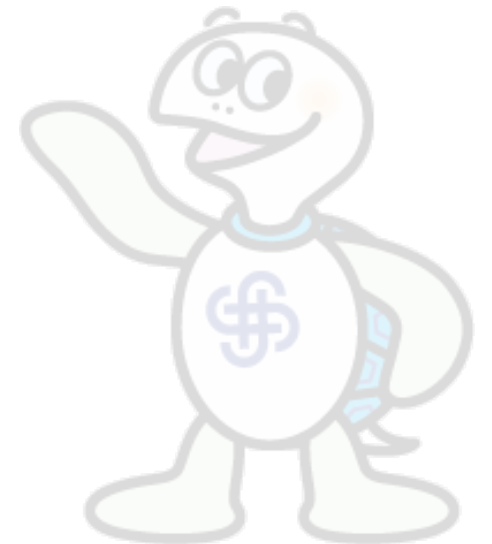
次の100年に向けて
未来への希望を紡ぐ

2027年10月1日

神奈川区制100周年



100周年記念ロゴの制定について



【1】100周年記念ロゴの制定について

●制定目的 「区制100周年の機運醸成」

区民の皆さまに、2027年が区制100周年であることを知っていただくため、印刷物や啓発物品（チラシ・フラッグ）などに掲載します。



※ご参考（90周年記念ロゴ）

●ロゴ案について

「岩崎学園情報科学専門学校」の学生の皆さんに作成いただきました。

➡ 神奈川県鶴屋町に拠点を置く専門学校。WEBデザイン等を学び、強みとする学生が在籍しています。横浜市と連携協定を締結しており、実行委員会の委員でもあります。

★フィールドワーク

今の街を見る・聞く・感じる



制作過程

フィールドワークや調査を重ねながら
神奈川区の未来について議論。
ロゴに込める思いを考え
デザインに落とし込む。

★学ぶ

街の歴史や特徴を調べる



【2】スケジュール

本日▶

日程		内容
令和 7 年11月18日	第 1 回実行委員会	岩崎学園の学生から、8 作品を提案。 実行委員の投票により、候補作 3 作品を選出します。
令和 8 年 1 月 1 日～ 2 月中旬（予定）	一般投票	候補作 3 作品を発表。 一般投票※を実施し、採用作品を決定します。
令和 8 年 3 月中旬	第 2 回実行委員会	採用作品のご報告。
令和 8 年 3 月下旬	ロゴのお披露目	ロゴ決定の記者発表。 広報よこはま 4 月号で、ロゴをお披露目。
令和 8 年 4 月～	ロゴの使用開始	実行委員会や区の印刷物や啓発物品にロゴを使用し、 100周年のPR・機運醸成に取り組みます。

※対象：区内在住・在勤・在学者

【3】ロゴ候補作の選出方法について

岩崎学園情報科学専門学校の学生から、**8作品が提案**されます。
実行委員の皆さまに投票いただき、**3作品を選出**します。

●進行

- 1 岩崎学園の学生によるプレゼンテーション（2作品×4チーム 合計10分）
- 2 投票・集計
- 3 結果発表

●選出方法

- ・ 投票用紙は1団体につき1枚配布します。
- ・ 投票用紙に1位～3位までの作品を記入していただきます。
- ・ 1位＝3点、2位＝2点、3位＝1点として集計。得点数の多い上位3作品を採用します。
- ・ 同点の作品があった場合は、1位の獲得数が多い方を採用します。